

放射能関係のお知らせ

2017年2月2回(B週)

お届け日:2017/2/6~2/10

発行日:2017/1/23



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/1/19(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	いちご	品目で検査済 たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・佐原・海上・遠州
	伊予柑	品目で検査済 南伊豆
	キウイ	品目で検査済 有機農法ギルド・小田原・やはた会
	不知火	品目で検査済 久望
	ネーブル	品目で検査済 小田原
	はるみ	品目で検査済 小田原・久望
	みかん	品目で検査済 小田原・久望
	りんご	品目で検査済 八峰園・ゴールド農園・雄勝・さみず
果菜	きゅうり	品目で検査済 茨城・村悟空・佐原・サンド旭・和郷 果菜類で検査済 野菜くらぶ
	スナップえんどう	品目で検査済 南伊豆
	トマト	品目で検査済 うつのみや・野菜くらぶ 果菜類で検査済 谷田部・茨城・元気会・沃土・村悟空・佐原
	ミニトマト	品目で検査済 茨城・あゆみの会・元気会・サンド旭 果菜類で検査済 野菜くらぶ・沃土・村悟空・和郷
	アスパラ	品目で検査済 利根沼田 果菜類で検査済 うつのみや 検査予定 さがえ西村山
	大葉	品目で検査済 和郷
	キャベツ	品目で検査済 海上・三浦EM・遠州 果菜類で検査済 あいづ・野菜くらぶ・沃土・村悟空・佐原・和郷・南伊豆
	小松菜	品目で検査済 谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会 果菜類で検査済 たまつくり・和郷
葉菜	サニーレタス	品目で検査済 谷田部・茨城・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済 たまつくり・レインボー・あゆみの会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・和郷 果菜類で検査済
	セロリ	品目で検査済 とびあ浜松
	たらの芽	品目で検査済 丸公
	チンゲン菜	品目で検査済 こまち 果菜類で検査済 あゆみの会・沃土・和郷・遠州
	菜の花	品目で検査済 小田原 果菜類で検査済 南伊豆
	にら	品目で検査済 元気会 果菜類で検査済 茨城・和郷
	ねぎ	品目で検査済 常総・南埼玉 果菜類で検査済 谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・利根川・沃土・村悟空・佐原・八街・風土の会
	白菜	品目で検査済 谷田部・茨城・常総産直・八街
	ブロッコリー	品目で検査済 谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・村悟空・海上・佐原・和郷
	プチヴェール	品目で検査済 庄内たがわ
	ベビーリーフ	品目で検査済 フェニクス・レインボー
	ほうれん草	品目で検査済 草の会 果菜類で検査済 谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・常総産直・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	みず菜	品目で検査済 ふきのとう 果菜類で検査済 谷田部・茨城・佐原
	芽キャベツ	品目で検査済 南伊豆
	ルッコラ	品目で検査済 茨城・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済 野菜くらぶ 果菜類で検査済 常総産直・沃土・海上・佐原・サンド旭
根菜	かぶ	品目で検査済 谷田部・たまつくり・佐原 根菜類で検査済 沃土・海上・八街・和郷 品目で検査済 茨城・清瀬
	ごぼう	品目で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・佐原・和郷・風土の会
	さつまいも	品目で検査済 谷田部・佐原・和郷 根菜類で検査済 常総・茨城・有機農法ギルド・たまつくり
	里芋	品目で検査済 茨城・あゆみの会・佐原・八街 根菜類で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会
	しょうが	品目で検査済 村悟空・和郷
	大根	品目で検査済 沃土・海上・佐原・和郷・三浦EM 根菜類で検査済 谷田部・たまつくり・村悟空・風土の会
	玉ねぎ	品目で検査済 南伊豆
	長芋	品目で検査済 常総・谷田部・茨城
	人参	品目で検査済 常総・あゆみの会・和郷・清瀬 根菜類で検査済 谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・沃土・村悟空・海上・佐原・農法の会・八街・風土の会
	にんにく	品目で検査済 八峰園・田子
	れんこん	品目で検査済 常総・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原

●2016 年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。
2016 年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県: JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県: JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわたの岩手いわてっこ
宮城県: JAみどりのの宮城ひとめぼれ
秋田県: JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア 21 の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかつのの秋田淡雪こまち
山形県: JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県: JA会津つよばの会津こしひかり
新潟県: JA 北蒲みなみの新潟こしひかり・JA ささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA 魚沼みなみの魚沼こしひかり・JA えちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA 佐渡の佐渡こしひかり
茨城県: JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県: 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19 検体中 17 検体不検出 2 検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県: JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県: 南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県: JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果の検査について

＊北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以东の本州 17 都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
＊旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
＊検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

＊yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
きのこセット	品目で検査済 小川きのこ・丸金グループ・三幸・渡辺きのこ
徳用きのこセット	品目で検査済 谷田部・丸金グループ *しいたけ・しめじから放射能が検出されました
なめこ	品目で検査済 谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済 ささかみ
マッシュルーム	品目で検査済 村悟空・三蔵
山えのき	品目で検査済 有倉

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/1/19	11
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
徳用きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
徳用きのこセットのしめじ			
ぶなしめじ	谷田部	2016/12/14	3.1
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアード栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

＊白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 252 きなり 298	もやしと豚肉のチャン プルーセットのしいたけ	2017/1/11	5.3
コトコ 260 きなり 309	体ポカポカ味噌鍋セ ットのしいたけ		
コトコ 111171 きなり 310 きなりセレクト 341100	食べきり塩ちゃんこ 鍋セットのしいたけ		
コトコ 258 きなり 308	坦々マーボー豆腐セ ットのしいたけ		
コトコ 262 きなり 306	野菜たっぷりのつけご はんセットのしいたけ	2017/1/19	11
コトコ 111163 きなり 302	焼き酢豚セットのしい たけ水煮		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

放射能基礎知識

忘れがちな、放射能の基礎知識を数回にわたり、お知らせいたします。

被ばくとは その8

● 3.11 甲状腺がん子ども基金 (http://www.311kikin.org/)

子ども被災者支援法が福島県の子どものために限られたため、民間有志による原発由来と考えられる小児甲状腺がんのサポート体制ができました。

放射能の問題や医療被曝の問題を取り上げてきた高木学校の崎山比早子医師が代表となり、福島県および関東から東北の17都県に住む子どもたちに原発由来の甲状腺がんに対して、給付を行っています。

一回は12月に実施されました。<http://www.311kikin.org/2017/01/05/613>

一部の自治体では、甲状腺エコー検査を行っており、その結果を自治体のホームページで公開しています。

● パルスシステムでも甲状腺エコー検査を実施

現在、千葉、神奈川、群馬、東京、茨城のパルスシステムでも、甲状腺エコー検査を実施しています。最寄りの生協に問い合わせしてください。

● 低線量被ばく

低線量被ばくについては、ほとんど知見がなく、検査などの対策を行うことで、注意深く状況を確認していくことが大事です。

チェルノブイリの場合は、避難は早かったのですが、

- ・食生活が野山からの自家採取した木の実や果実を利用することが多かったこと
- ・放射能を含む牧草が主体となったエサを給餌された酪農
- ・チェルノブイリ以前からの核実験の影響
- ・食品の計測の遅れ

以上のようなことより、多くの人に食を通じて放射能を体内に取り込む内部被ばくに長いことさらされてしまうことになりました。

一方、日本の場合は、

- ・もともと味噌などの発酵食品を多く利用している
- ・海苔などの海藻を利用している
- ・畜産や酪農の多くがさまざまな地域の海外飼料にたよっていた
- ・各企業やスーパーなどの検査体制も早急に整った

原発事故後から放射能の内部被ばくは少なく、なおかつ継続的に放射能を体内に取り込むことが少なかったと考えられます。

チェルノブイリの場合は、30年を過ぎた現在でも、WBC(ホールボディカウンター)による検査で、体重1kgあたり20Bqを超える放射能がある場合は、ペクチンを主体としたサプリメントがベラルーシなどでは配付されることになっています。

日本では、WBCを計測できる場所が非常に限られていますが、上記の理由より状況的に内部被ばくはチェルノブイリに比べて少ないと考えられます。

しかし、放射能がどのように移り変わるのかはほとんど未知な状況です。高濃度に放射能が降下した場所からの移動がどのように起こるか、土壌中に固定された放射能がどんな変化をするのか

などはまだまだ未知数のことが多く、常に注目していく必要があると考えています。

パルスシステムでは、放射能の変化を見守るために、今後も商品の検査を続けていきます。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1014)」(2016/10/18～12/28で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 以上で検出された検体です。
イノシシ肉:群馬県桐生市 260Bq/kg
ツキノワグマ肉:群馬県東吾妻町 170Bq/kg
基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
原木シイタケ:千葉県富津市・館山市ほか 3.3～35Bq/kg
スズキ(海の魚):千葉県銚子市 0.61～58Bq/kg
- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
干し柿:福島県二本松市ほか 3.3～34Bq/kg
ヤマメ:福島県天栄村(阿武隈川水系) 25Bq/kg
クルマシ:福島県大玉村 21Bq/kg

*** 採取禁止地域より採取されたコシアブラが道の駅で販売され、回収される事例がありました。**
計測されていない、または、計測結果を公開していない食品および、天然の川魚やジビエ、山菜、きのこ類などに注意をしてください。

1月の放射能検査状況

1月13日までの検査で、しいたけから、生しいたけ(原木栽培)が1件(8.0Bq/kg)、お料理セットのしいたけが1件(5.3Bq/kg)から検出がありました。その他からの検出はありません。

乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。

検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)				
	1月	1月の検出内容		1月
青果	8(0)		卵	14(0)
しいたけ	2(2)	原木しいたけ 8.0Bq/kg お料理セットのしいたけ 5.3Bq/kg	魚介類	9(0)
その他のきのこ類	1(0)		飲料水・飲料	8(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品	9(0)
牛乳・乳製品	6(0)		その他加工食品	97(0)
肉類	1(0)		合計	155(2)

2016年度の放射能検査の状況(2016年4月～12月)	
青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2016年1月に小田原の伊予柑から5.3Bq/kg、2016年2月に小田原のはっさくから4.8Bq/kgが検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1～12Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0～3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	＜お料理セット＞ 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.4～11Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	＜大豆加工品＞ 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。
	＜その他＞ 2016年11月にサプリメントのブルーベリー＆ルティン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルスシステムの放射能検査について

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルスシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン) (セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、 その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「Yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について	
農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物